

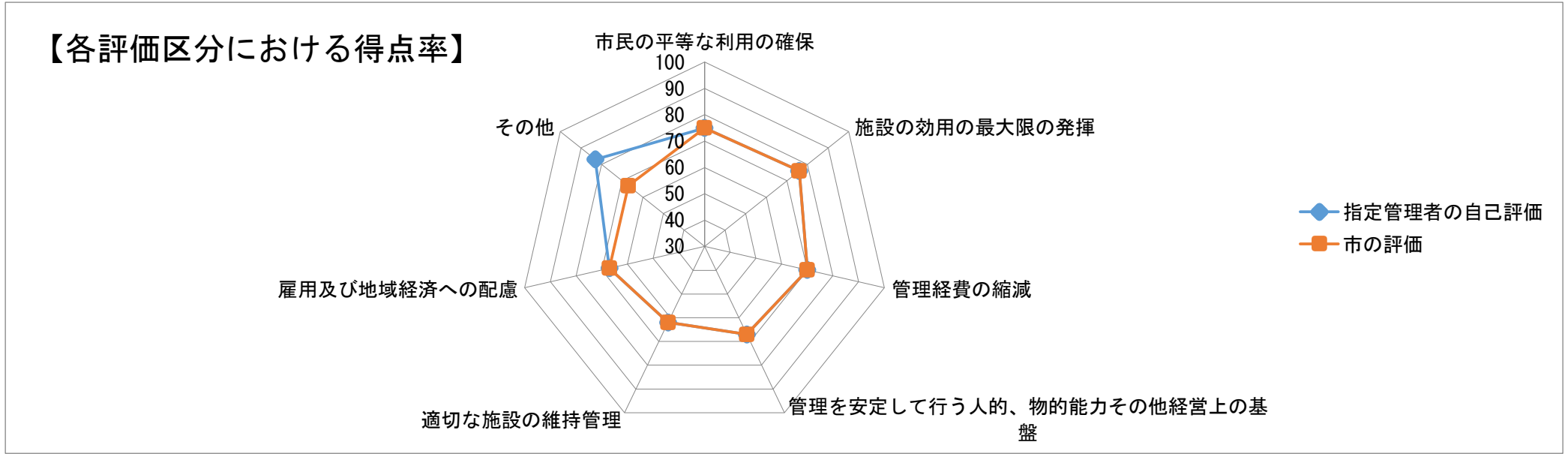
(様式2)

令和5（2023）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称		郡山市三穂田地域交流センター		施設区分		事業実施型				
施設所在地		郡山市三穂田町富岡字吉室内106番地の 1		指定管理者		社会福祉法人郡山市社会福祉事業団				
指定期間		2019年 4 月 1 日から2024年 3 月31日まで		施設所管部課		保健福祉部健康長寿課				
評価項目		評価基準		配点（標準点）	指定管理者自己評価	自己評価コメント		市評価	市評価コメント	特記事項
Ⅰ 市民の平等な利用の確保										
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等）	2 (1)	2	平等利用、公平性が保たれた。		2			
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2 (1)	1			1			
小計			4	3			3			
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮										
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4 (3)	3			3			
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	10 (6)	6			6			
5	広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）	4 (3)	3			3			
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4 (3)	4	市の接遇マニュアルを参考に、適切な対応に努めた。		4			
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4 (3)	4	意見や要望に迅速に対応した。		4			
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）	4 (3)	3			3			
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3 (2)	2			2			
小計			33	25			25			
Ⅲ 管理経費の縮減										
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5 (3)	4	業務委託の複数年契約等によって適切な帳簿管理・経理を行った。		4			
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5 (3)	3			3			
小計			10	7			7			
Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤										
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5 (3)	3			3			
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5 (3)	3			3			
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切にしているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5 (3)	4	市への届出等を遅滞なく行うとともに、関係機関との連携を密接に図った。		4			
小計			15	10			10			
Ⅴ 適切な施設の維持管理										
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）	10 (6)	6			6			
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4 (3)	3			3			
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4 (3)	3			3			
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2 (1)	1			1			
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。（例：持ち込み物品等管理簿、表示 等）	2 (1)	1			1			
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2 (1)	1			1			
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2 (1)	1			1			
小計			26	16			16			
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮										
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3 (2)	2			2			
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3 (2)	2			2			
小計			6	4			4			
Ⅶ その他										
24	活動指標	設定した指標の目標値（開館日数291日、講座回数2回）を達成しているか。	2 (1)	2	活動指標のとおり目標値を達成した。（開館日数292日、講座回数2回）		1	要求水準どおり。		
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数6,100人）を達成しているか。	2 (1)	1	5,394人の利用となり、88%の達成率となった。		1			
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2 (1)	2	市への協力とともに、積極的な管理運営を行い、地域住民等との円滑な関係構築に努めた。		2			
小計			6	5			4			
合 計 点			100	70			69			

実 績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	9,526	9,592	9,637	9,799	9,683	48,237
利用料金収入（千円）	26	1	4	5	3	39
利用者数（人）	5,797	3,935	5,239	5,288	5,394	48,276
二次評価 （市の評価）	B	C ⁺	C ⁺	B	C ⁺	
備 考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R2.2.25から講座等を、R2.3.4から入浴利用を、それぞれ中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、休館、事業の中止、人数制限等を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、休館、事業の中止、人数制限等を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、人数制限等を実施した。	新型コロナウイルス感染症の位置づけが、R5.5.8から5類に変更されたことから、利用制限を解除した。	

サ ー ビ ス 向 上 対 策						
1 利用者に、季節ごとの入浴サービス（菖蒲湯、柚子湯）を提供した。 2 館内に、季節に応じた折り紙を掲示・展示して利用者に季節感を味わっていただいた。 3 夏季には、利用者の熱中症・脱水症予防のため、冷たい麦茶、ウーロン茶を提供した。						



評価	点数	評価内容
B	70	【総合評価（評価できる点等）】 適切な帳簿管理、経理等を執行するとともに、施設の維持・管理等を複数年契約の業務委託により管理経費の縮減に努めた。 また、ボイラー燃料の効率的な使用を図るため、浴槽・室内の温度管理や冷暖房設備（ファンコイルとエアコン）の使い分けを行った。 【改善のための行動計画への対応状況】 施設稼働率の向上については、郡山市社会福祉事業団のウェブサイトの活用や行政センター等の地域関係機関連携し、施設のPR活動を実施した。

評価	点数	評価内容
C ⁺	69	【総合評価（評価できる点等）】 施設利用者数については、目標値（6,100人）には到達しなかったものの、88%を達成し緩やかな上昇傾向にある。季節に応じた入浴サービスの提供や飲料の提供などを通じ、新規利用者の拡大を図っている。 適切な帳簿管理とエネルギー関連経費の削減に取り組んでいる。 【改善のための行動計画への対応状況】 施設利用者数は、緩やかではあるが上昇傾向にはある。引き続き利用者の確保と施設稼働率の向上に向けた創意工夫を検討願いたい。 エネルギー価格を始めとした物価高騰が継続しているので、一層の経費節減に努めていただきたい。

【指定期間全体を振り返っての総括評価】		
	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価 （一次評価）	1 施設が老朽化しているため、各年度に発生した修繕箇所については、指定管理料に含まれる修繕費により、適切かつ迅速に対応した。 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大期間中は、利用者数は一次的に減少したものの、感染症対策を適切に行いながら、利用者数の確保に努めた。 3 ボイラー燃料の効率的な使用を図るため、浴槽・室内の温度管理や冷暖房設備（ファンコイルとエアコン）の使い分けを行い、燃料費の節減に努めた。	○ 利用料金収入が増加しなかった。
市による評価 （二次評価）	施設利用者数については、令和元（2019）年度末以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う事業休止や人数制限がある中で、積極的な施設のPR活動や季節に応じた入浴サービス等の提供により、高い水準（目標値の65%～88%）で利用者数が推移した。 期間を通じて、適切な帳簿管理と経費削減に対する取組みがなされた。	期間中は高い水準で施設利用者数を確保したが、新規利用者の開拓・拡大を図ることができず、施設稼働率の向上及び利用料金収入の増には直接結びつかない結果となった。